

~王妃になりたくば夜伽で殿下に愛され続けよ~

田 上 大 奥 界

1

Sauro
サウロ

Tsehai
トセハイ

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～

第 1 話

加治達樹様 結婚
倉山麗華様

新郎新婦による
ケーキ入刀です

ハイハイ

ハイ

ハイハイ

ハイ

この私
くわやま
れいか
倉山麗華は

裕福な
資産家の
1人娘として

蝶よ花よと
育てられ

学生時代は
クラス全員の
憧れの的であり

常に
1番モテる男が
私の彼氏だった

そして
今日は…

麗華

有名大企業
期待のホープとの
結婚式

愛してるよ

完璧だわ



私には常に
カーストトップに
君臨する...

ざわ

どうい
う汚い女は

キレイにして
あげないと

え...なにっ!?

あなた
達樹に色目
使っでんの
知っでんだからね

汚いっ

吐き
そうっ

違いますっ
私はただ
仕事の話を...

ほら
認めて謝罪は?

ほら

ほら

私に...
加治さんに!

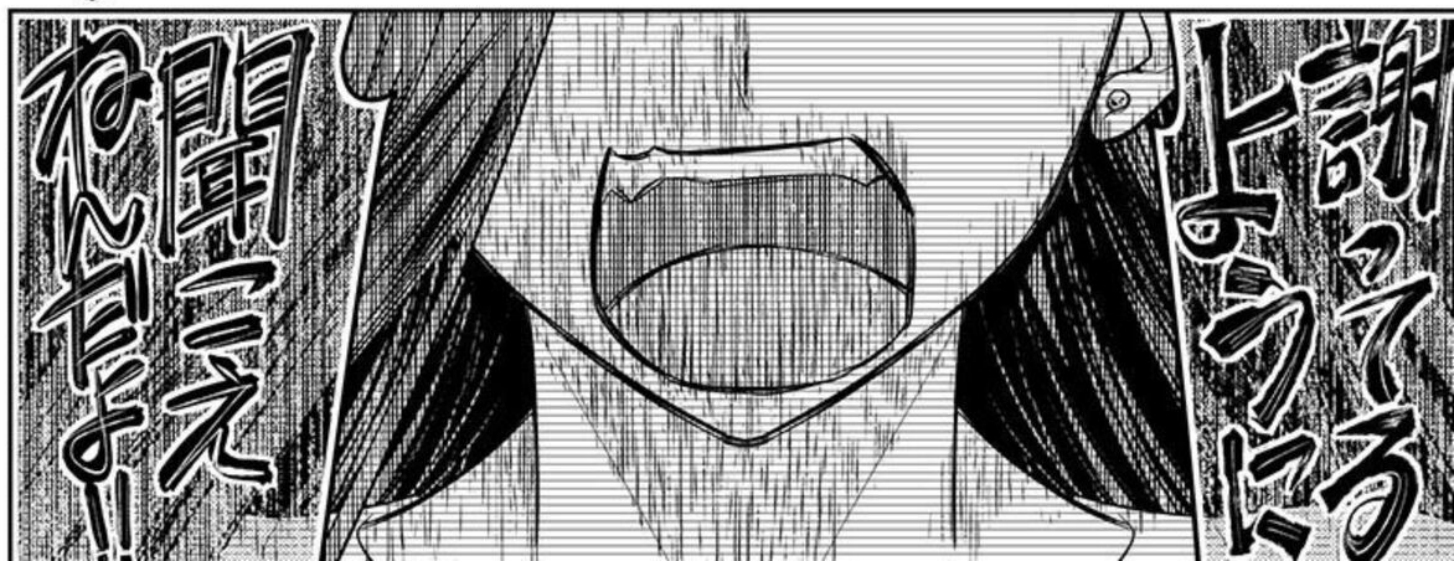
色目をつか...

ごめ...なさい

許してください...

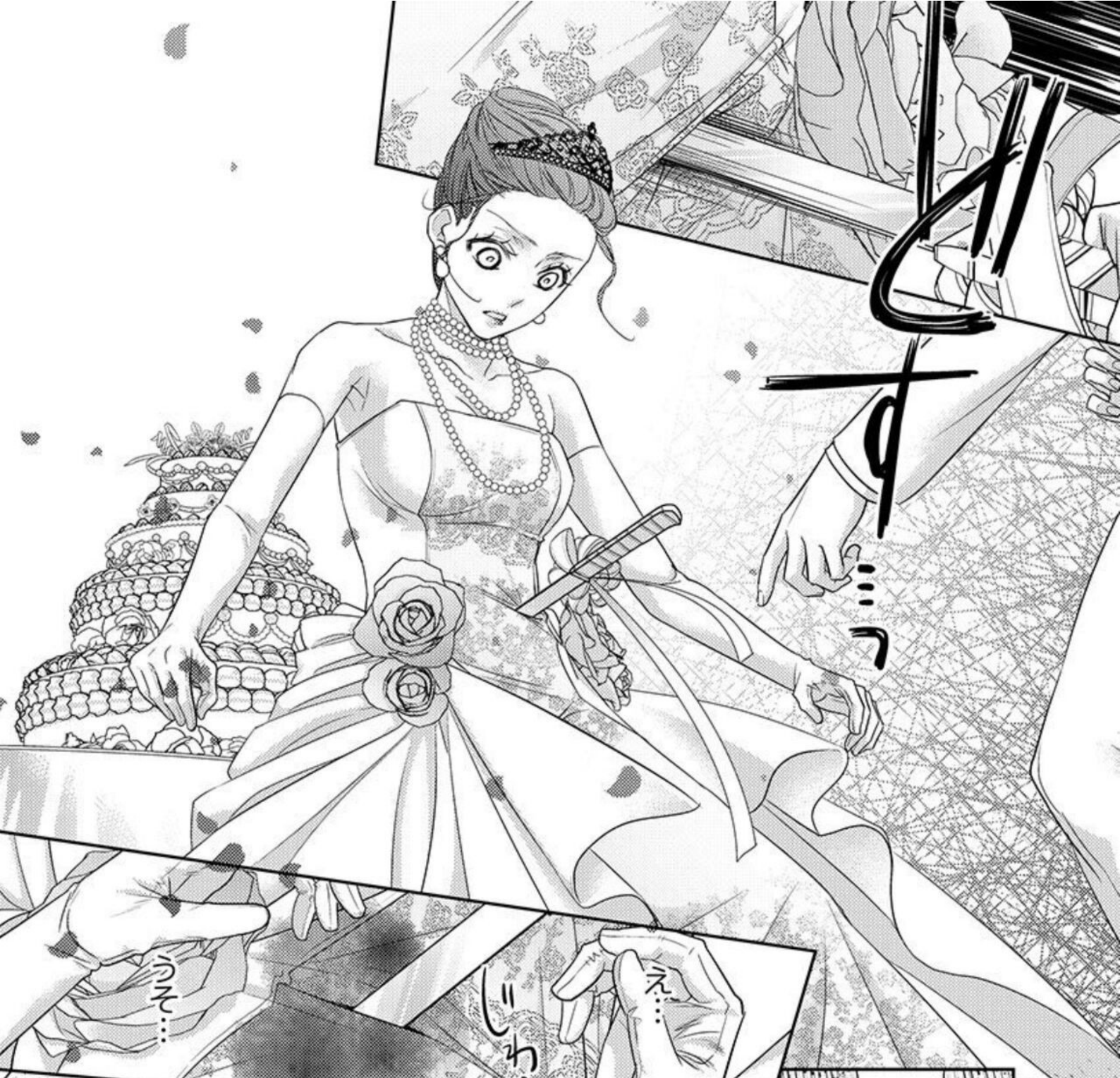
社内いじめ?

加治さん...



謝ってる

お聞きです



んんん...

いっわ...

え...

オナ
ー
ッ

麗華
ごめん...

刺す...
つもりは...

しっかり
してくれ...

せっかく...
何もかも
上手くいった
のだ...

こんな
で...

麗...



無礼者!!
自分の立場を
わきまえなさい!!

アネッサ様
にたてつく
なんて...

え...

新入りの
くせに...

私...
結婚式の最中に
刺されて...



はっ



そうだ...
私の名は...レイナ...



レイナさん!

大丈夫!?



あの日
麗華として
死んで

この世界に
転生した



王子殿下
ご入場—



第四王子
グレン殿下

第三王子
リュカ殿下

第二王子
デレク殿下

第一王子
クラウス殿下



王子…？

なに…これ…
どういう状況…？

はっ

カッ

ん？
君…

クラウス殿下
ご無礼を
お許しください

この者はまだ
この「大奥」に
入廷したばかり
で…

やばっ!!

頭下げないと
ダメだったんだ…!

たっ大変
ご無礼を…

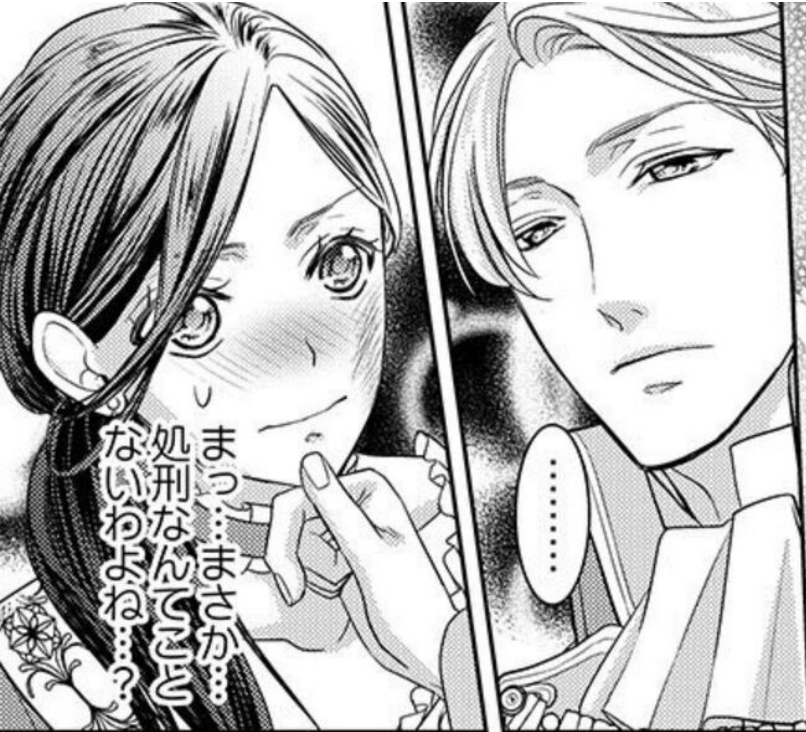
なるほど

どうりで
初めて見る
顔だ

どっ

もっと
よく見せろ

クィッ







まあ！

きつと
叩かれたシヨックで
記憶が飛んだのね！

私たちみんな
王子様たちの
ために
この「大奥」に
集められた

次期王妃候補よ



今日は
定期的に行われる
王子様と
候補者全員との
舞踏会で…

私たち新入りは
ドレスも格下だし

王子様たちの
目には届かない
場所にいるように
指示されて…

アネッサ様たちに

それで
レイナさんが…



あのっ

なぜ新入りは
このような
貧相なドレス
なのですか？

次期王妃候補で
あることは
先に入廷しようが
後に入廷しようが
変わりません

全員同じように
着飾らなければ
不公平では？

ああ…

それで
無礼者…と

思い出したわ

なぜだか
急に思い出した
麗華の記憶のせいで
頭が混乱したみたい…

王子殿下
ご退場—

結局誰とも
踊れなかった…

それでは
これから

新たに
ご入廷なさった
新次期王妃候補の
皆さんの

歓迎会を
執り行います

歓迎会…？

レイナ・
オルガ!!

ざわ…





さあ
この大広間の中央で
新参舞を披露なさい！

皆さまが
あなたに釘付けよ
目立ちたがり屋さん！



しっかり目を
つけられたって
わけね

なるほど



裸踊りの
ことよ

新参舞って？



…へえ

面白そうなこと
やってんじゃん

アネツサの望みは
手に取るように
わかる…

麗華…

できないよ…
お願いだから
許して…

私は前世で
アネツサ以上に
人をいたぶって
きた

莉子お

あんた
裏では

私の悪口
言ってる
だつてね

そんなヤツ
友達つて
言わないよね

ありがたく
受け取んな…

…あの
羞恥に震え
許しを請う目

よッ

あッ
あッ
あッ

でも
今まで仲良く
してくれた
お礼に

コイツの
童貞あげる

アネツサが
見たいのは
あの顔でしょう
けど…

思い通りには
させない

あああ…



別に

どこで脱いでも
変わらないじゃ
ないですか



あなた方は
私を辱めたい
だけですよね？



こっ

ここではなく
裏で準備なさい！



わかりました

私が前世で
したことに
比べれば
可愛いものだわ



ぐぐ



随分と
威勢のいい
女だな



ただ私は

自分の
プロポーションに
自信があるので

全裸で踊るくらい
恥ずかしくも
なんともありません



はっ



クッ
クラウス殿下…!!



また
君か…



うそ…こんな姿…
王子に見られるなんて…



なんとも
くだらない遊びを
思いついたものだ



は…

レイナ…オルガ
と申します

レイナか…
気に入った



裸の女

名は？



え…!?



後でコレを
返しに来い

宵月の館で
待っている

ありがとうございます…
ございます…

あ…



ふ、あざ

!



宵月の館って
たしが…



殿…下…?



あんた
新入りが…
宵月の館に…?

ぞめ

えっ、
そんほ…

お夜伽
部屋!?

こちらで
お待ちを

大奥・宵月の館

どき

入廷したばかり
なのに

もう夜伽に
呼ばれるなんて…

どき

さすがに
緊張する…

ここで…殿下と…

さっきの威勢は
どこへ行った?

クラウス殿下!



きゃっ

こっこの度は
このような
ご荣誉を賜り

心から…

そんな
殊勝な口も
利けるんだな



あっ

だが
必要ない

さっきの
レイナ・オルガで
いい





その記憶を
駆使すれば

クラウス殿下の
心だって...

は、
あ、
は、



ん、
あ、
あ、

あ、
あ、

ちゅん
ちゅん
ちゅん

ちゅん
ちゅん



弱い...っ

待ってください...

殿下...

は、
あ、あ、あ

クラウス...
すくいあげられる...
舐められるの...

くっ
くっ
くっ

あ、あ、あ

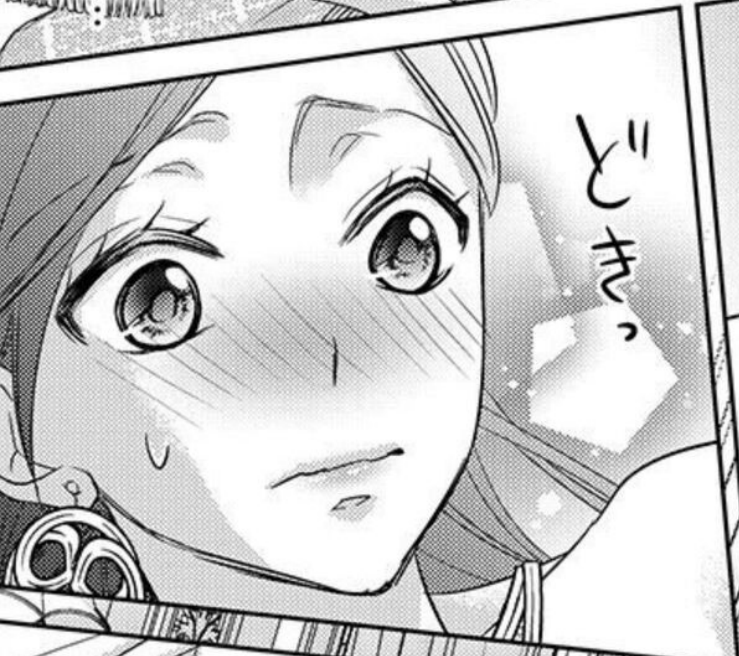


イカされたの...
初めて...

は、
あ、
あ、

あ、あ...

ココが
いいんだな





あゝあゝあゝ
殿下の…

挿こ…てる…

おん

あゝ



あゝあゝ
この感覚…

はっ
なにか
キッ
キッ



おん

!



あれ…力が…
抜ける…

ぞん…か…

レナ…

レイナ!?

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～(1)

著者 サウロ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

～王妃になりたくば夜伽で殿下に愛され続けよ～

田 上 大 冊 界 奥 田

2

Sauro
サウロ

Tsehai
Doobu

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～

第 2 話

この私
レイナ・オルガは

ナイポニア島の
エディン王国に

しがない
庶民の子として

生を受けた

よしよし
いい子ね
レイナ

この国では
稀に

魔力を持つ
子供が生まれ

国を挙げて
珍重されている

おめでとう

この子の中に
魔力が視えるわ

ふいふい

未来の
お妃様だぞ！

レイナに？

私もその1人
だった

魔力保持者は

18歳になると

国家公務者
として王宮への
出仕が義務付け
られている

その中でも
特に魔力の強い者は

男なら貴族

女なら王宮の
大奥に入廷

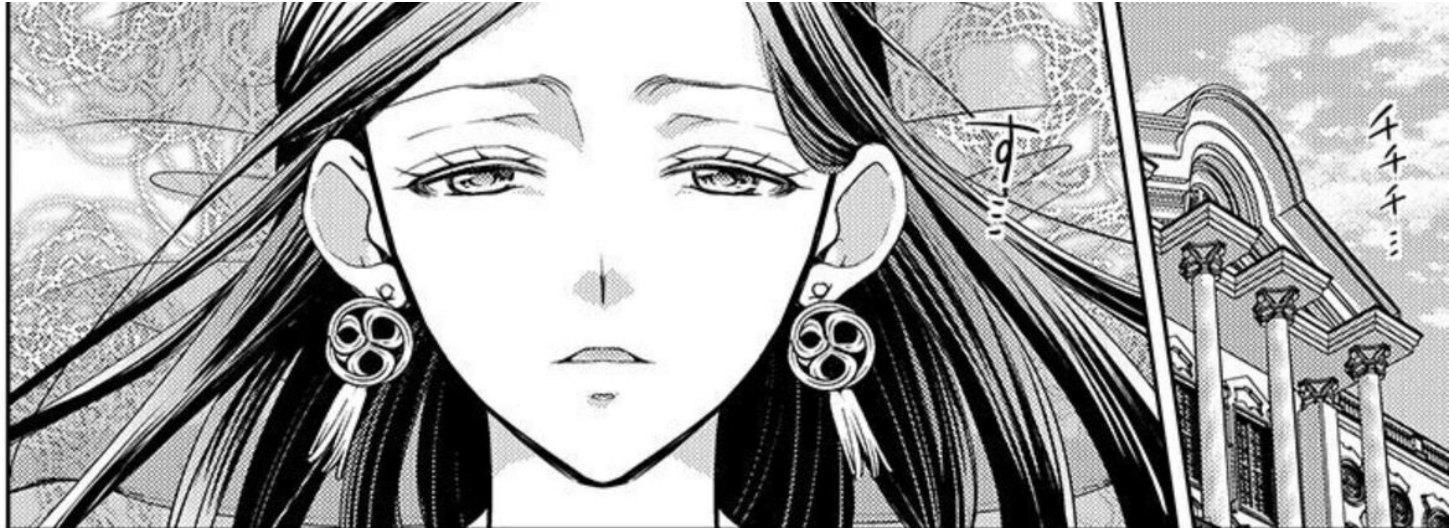
次期王妃候補として
王子殿下に仕えるのだ

そう
この国において
その名譽を
手に入れた

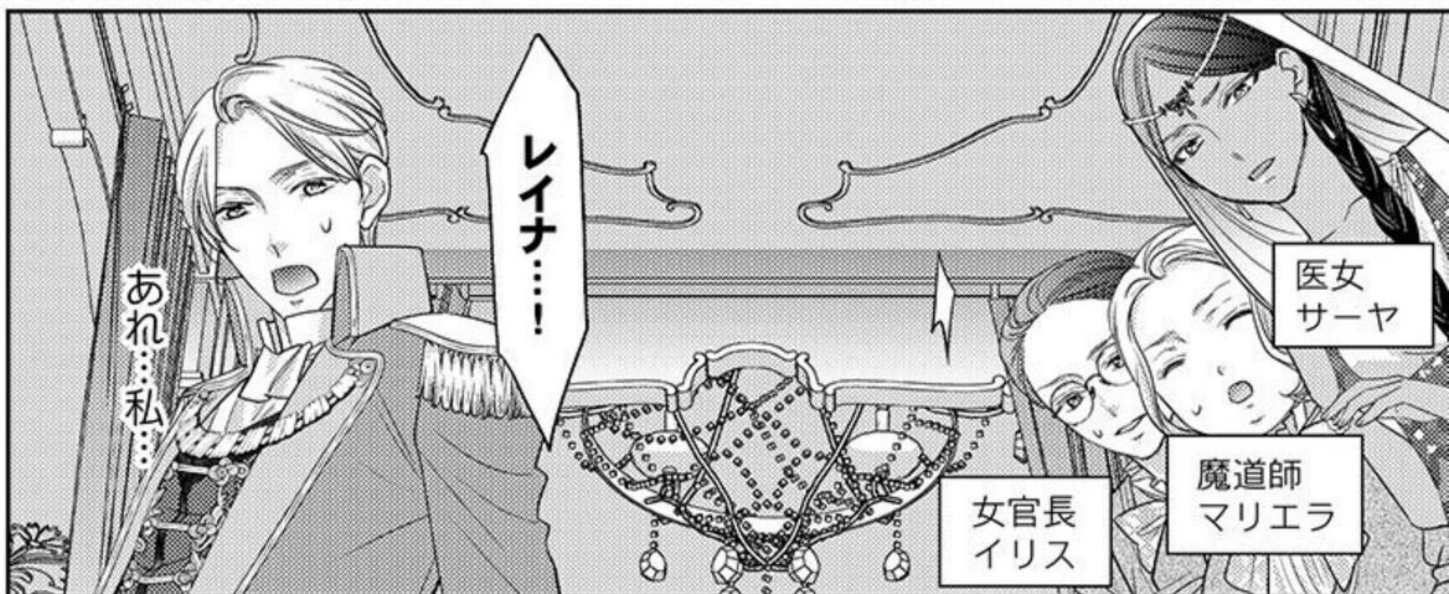
この私
レイナ・オルガは

この国の
女の頂点である

王妃の地位をも
手に入れることに
決めたのだ



千々千々



レイナ…!

あれ…私…

医女
サーヤ

女官長
イリス

魔道師
マリエラ



ちよつと
失礼するわね



おかしいわね

レイナの魔力が
失われているわ



急に
起き上がるの
良くない



え!?



ほ…

急に
意識を失って
心配したんだぞ

よかった



でん…っ

そついでばあ
あの後どうなつて…



殿下
失礼致します

どういうことだ？
マリエラ



私の中に？



殿下のお体に
レイナの魔力が
視えます

ふわ



何かを
生み出す者も
いれば

常人には
わからぬものを
視たり聴いたり…

多種多様です



殿下

魔力というのは
保持者の数だけ
種類もあると
言われております



なるほど…
そうなのかな？



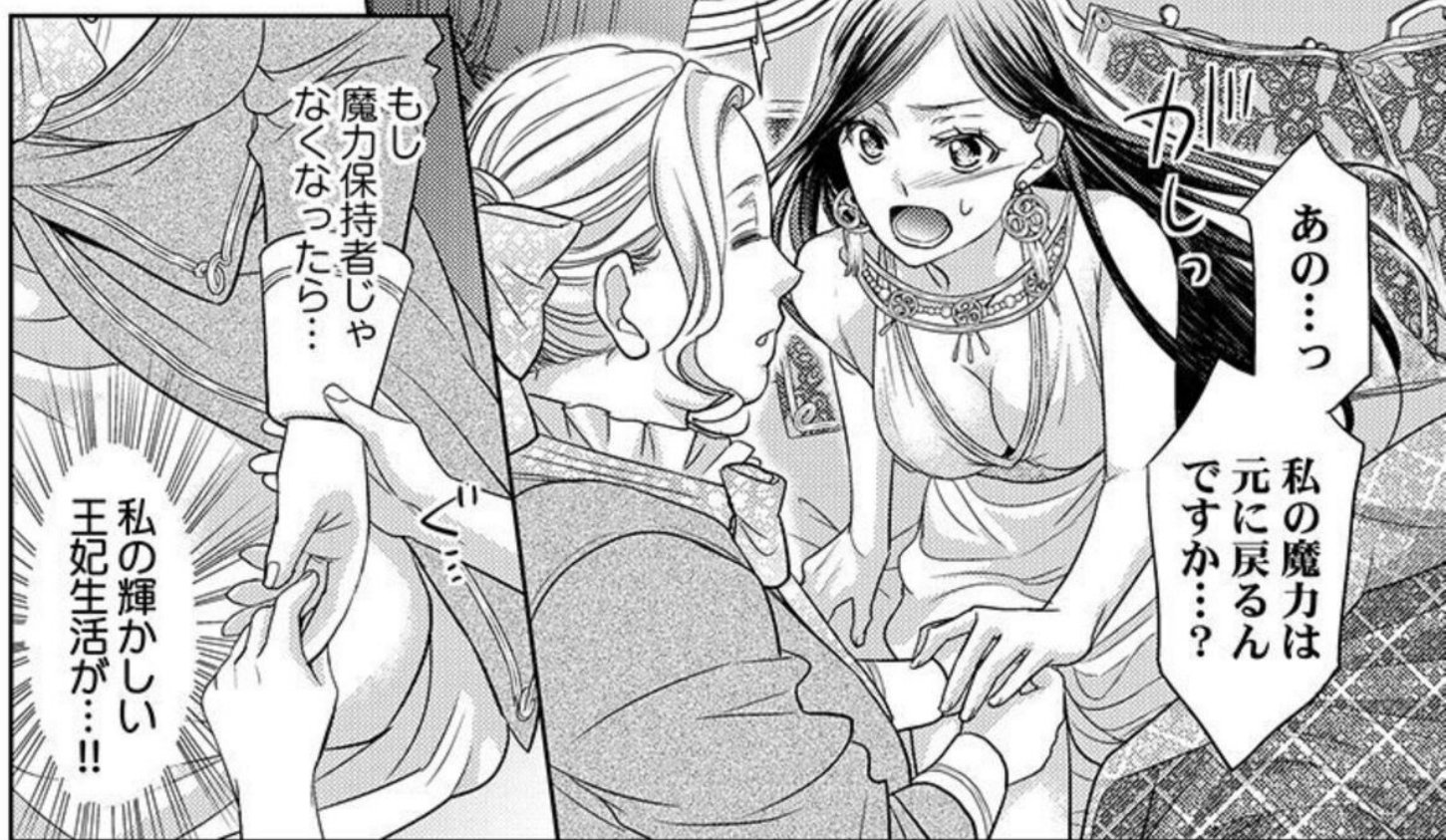
いえ…
それが…
私も自分の
魔力のことは
よくわから
なくて…



レイナは
別の誰かに
自分の魔力を
供給することが
できる

私が思うに

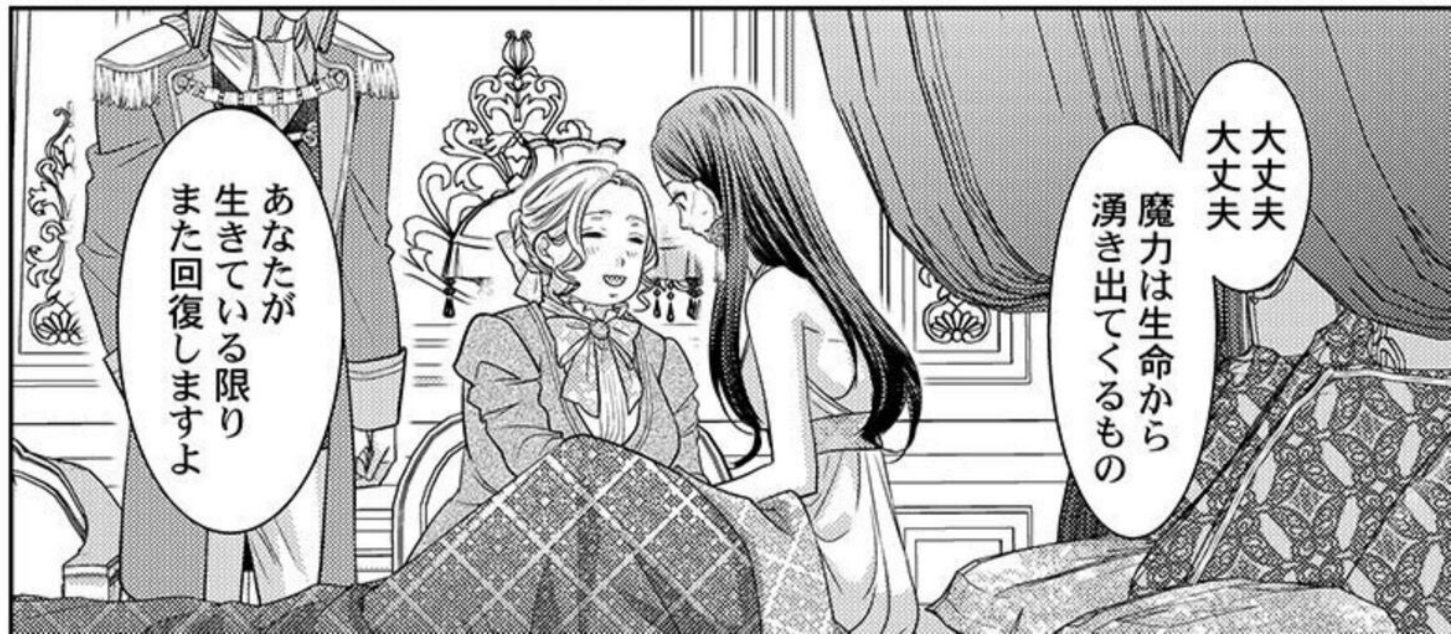
魔力の持ち主
なのではないかと



もし
魔力保持者じゃ
なくなったら…

私の輝かしい
王妃生活が…!!

あ…っ
私の魔力は
元に戻るん
ですか…？



あなたが
生きている限り
また回復しますよ

大丈夫
大丈夫
魔力は生命から
湧き出てくるもの



ああもう
そんな時間か

御前会議の
お時間で
ございます

クラウス殿下

おとぎよかん
御伽女官
イル

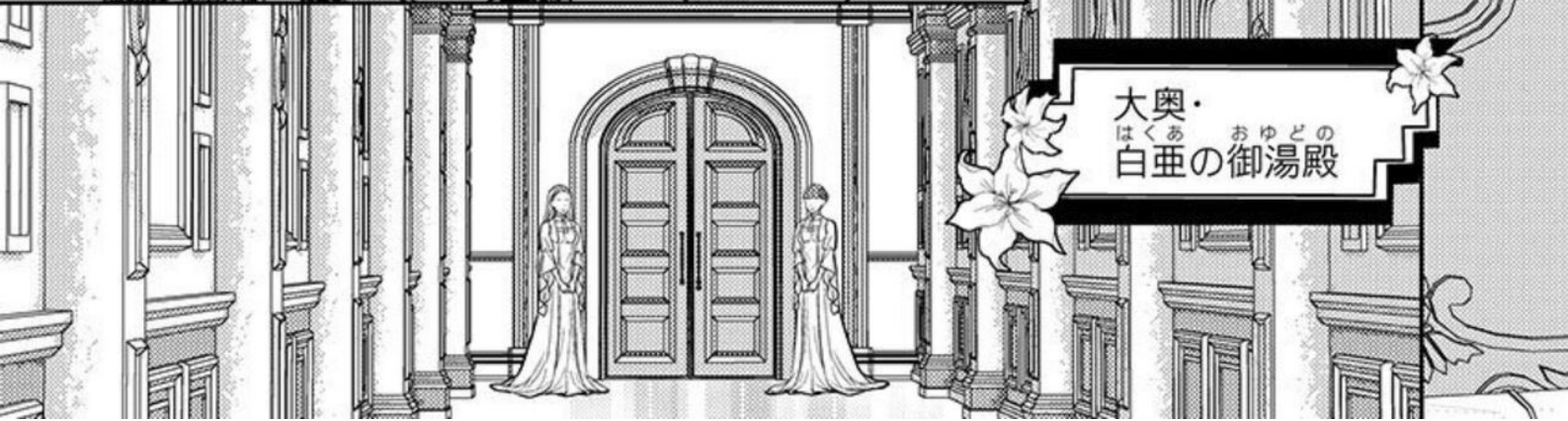


レイナ

あまり無理は
しないように

あ…

ありがとうございます
ございますっ

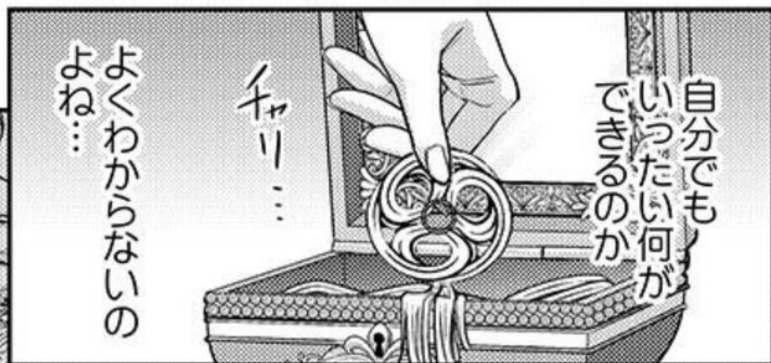


大奥・
はくあ おゆどの
白亜の御湯殿



王妃ルートへの招待チケットくらいにしか思っ
てなかったから

魔力なんて



自分でも
いったい何が
できるのか

チャリ...

よくわからないの
よね...

ふう...

まさか

私の魔力が
クラウドス殿下に
移っちゃうなんて...



レイナ・オルガか



クラウドス殿下の身に
変な影響が出なきゃ
いいけど...



なんだ
先客がいるのね

もじかして
他の王子の
夜加役だったり
して...



まさか
こちらに
いらっしやる
とは…
女官も
一言くらい…

グッ…
グレン殿下!?
大変失礼
致しました



…ってここ
大奥の大浴場
じゃん!!

なんで王子が
いるの!?

女官を責めるな

俺が
女の出入りを
許可している

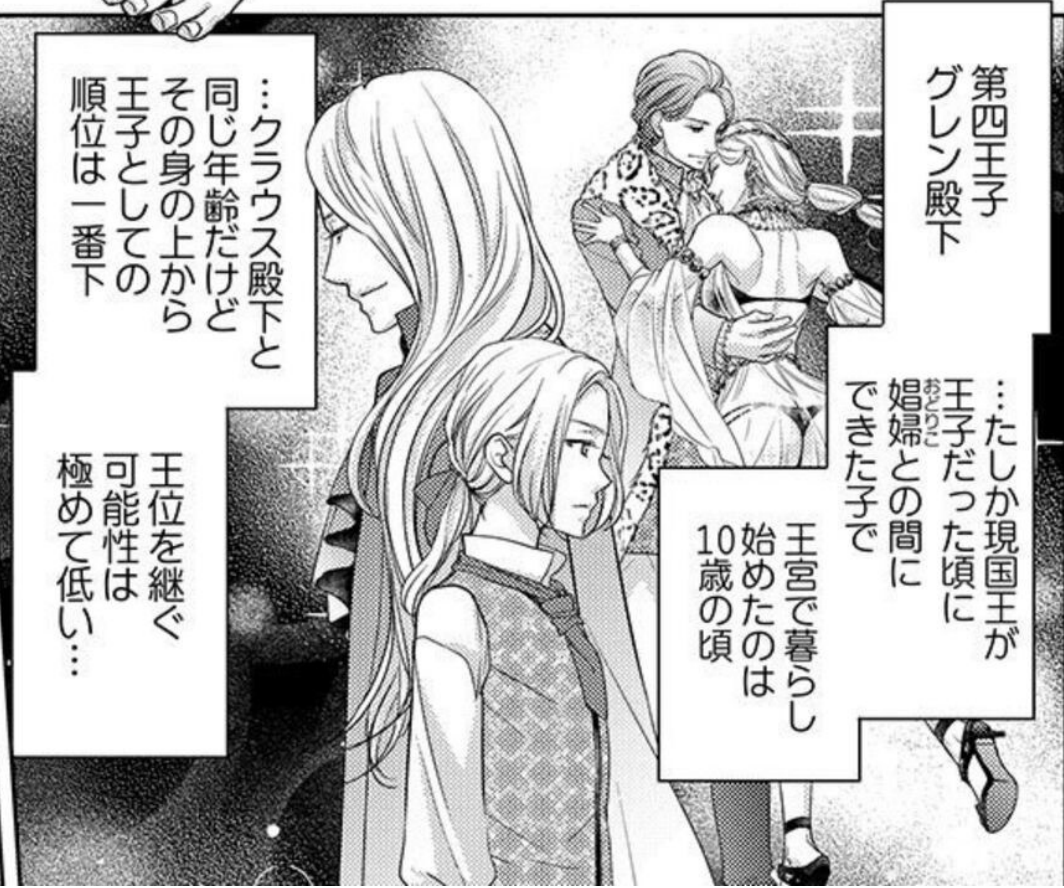
そうじゃ
なくて!!



いい眺めだ



ご不興を
買わない程度に
あしらうのが
正解ね…



第四王子
グレン殿下

…たしか現国王が
王子だった頃に
娼婦との間に
できた子で

王宮で暮らし
始めたのは
10歳の頃

…クラウドス殿下と
同じ年齢だけど
その身の上から
王子としての
順位は一番下

王位を継ぐ
可能性は
極めて低い…

殿下：
まさか私の名を
お心に留め置いて
頂けていたなんて
光栄ですわ

大広間で
ストリップ
やろうとした
王妃候補なんて
そうそういない
からな



ところで
クラウスの伽で
気を失ったと
聞いたが

呆れるほど
あざといな

!

お言葉
ですが

演技では
ございませんわ

あざといのは
間違っではないけど

ほう…?

まあ
次期王妃を
狙うなら

まずクラウスを
落とすのは
間違っじゃないが

そんなに
クラウスは
よかったのか？

俺も試して
みたくなった

!?





御冗談は
おやめください……っ

他の王子殿下の
お夜伽を
務めるには

医女のご診察と
2ヶ月ほど
間を置く決まりが
ございます



ちゅぷ

殿下…!?



そのルールを
作ったのは

王族だ



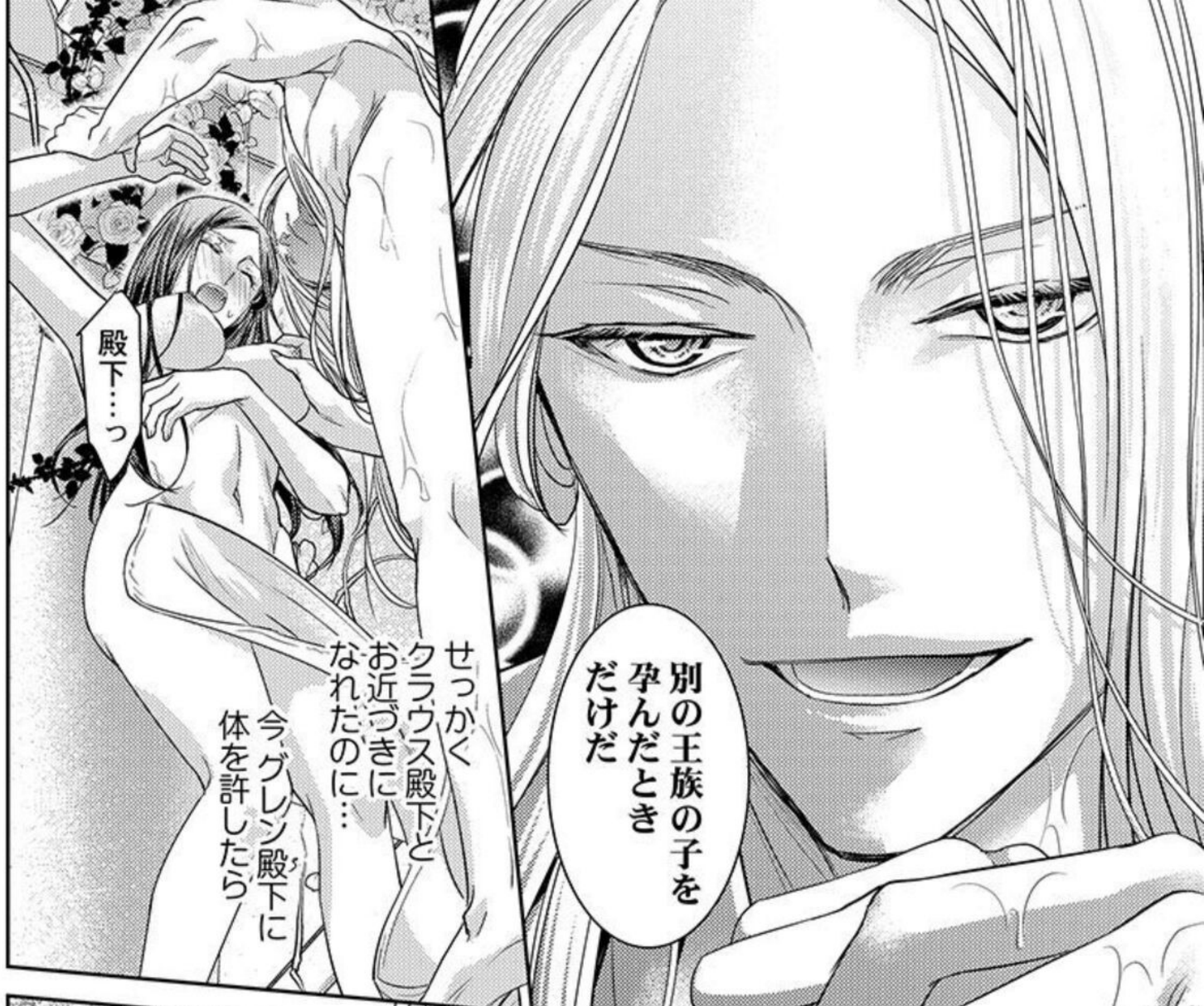
その王族である
俺には

ルールを
変えていい
権利がある

そして

次期王妃候補が
おれ
王族に逆らって
いいのは…

!



別の王族の子を
孕んだとき
だけだ

せっかく
クラウス殿下と
お近づきに
なれたのに…

今、グレン殿下に
体を許したら

殿下…っ



きつと
クラウス殿下に
見捨てられる…っ

殿下…っ

抵抗…したいのに…

思うように
か…入らない…

あーっ

ちゅっ

はっ

れっ

あーっ

れっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ





レイナ・オルガ…!?

グレン殿下と…

どくらん



レイナ・オルガ…

なんて卑しい女…!!

グレン殿下にまで
手を出すなんて

クラウス殿下に
お知らせ
しなければ…!



アネッサ様!?

どちらへ!?



ふっ

ん

ふっ

はっ

はっ

はあ

ん

ん

ちゅぽ
ちゅぽ

ちゅぽ
ちゅぽ

しゅ

ちゅ
ちゅ



これ以上
続けられたら
イツちやう…っ

殿…下…っ

は

は



くちゅ

くちゅ

うそ…
でしょ…

あ

ん



そろそろ媚香が
効いてきたか

は

は



マキヨウシャ
夜馨花という
花の香りだ



媚…香…？

は

異国からの
献上品で
王族の間で
愛用されてる

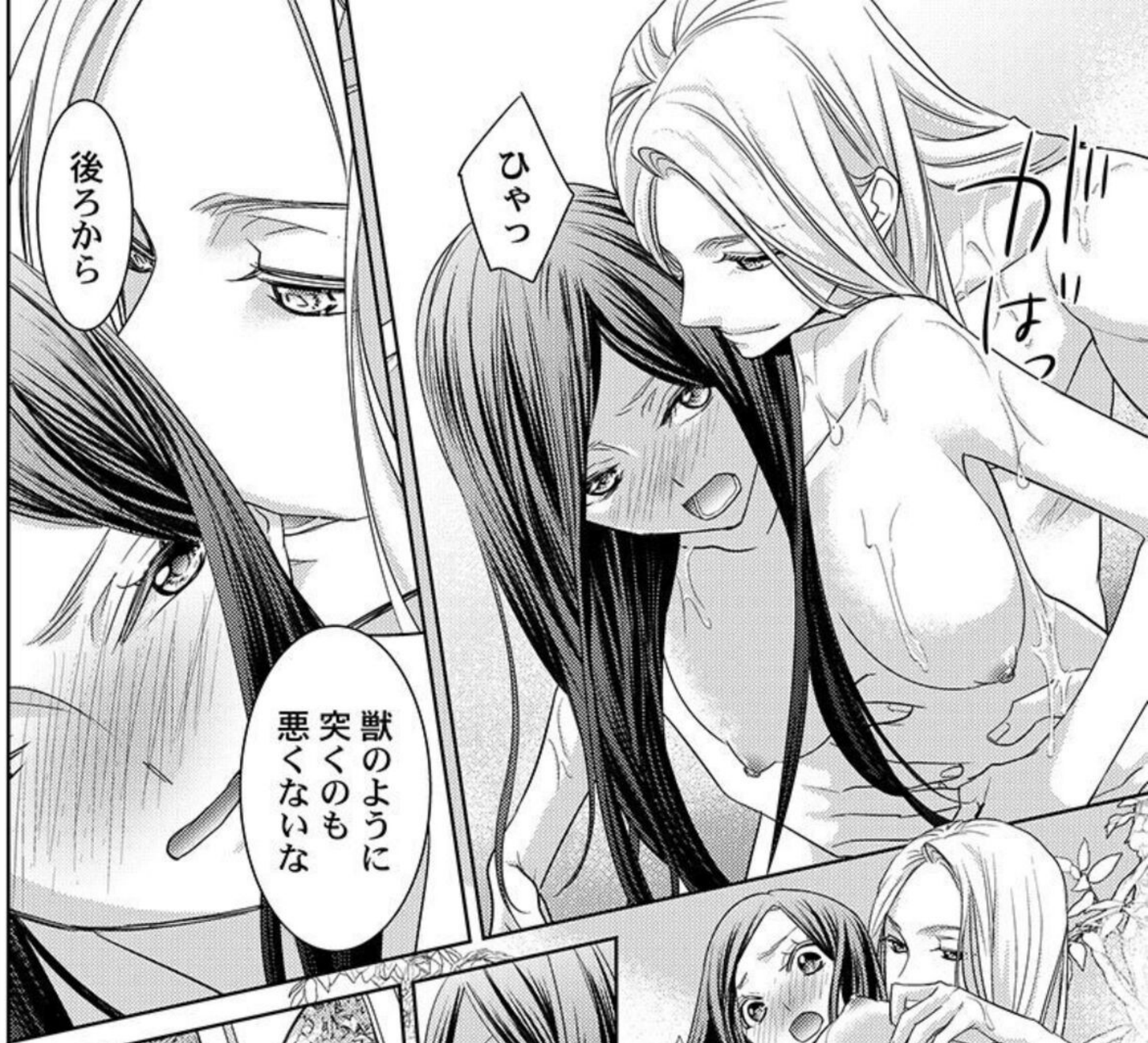
女の子宮が
刺激されて
男を欲する
ようになる

キゅ

は







後ろから

ひゃっ

かっはっ

獣のように
突くのも
悪くないな



待ってください...っ

くちゅ...

かっはっ



グレン!!

何をしてる!!

クラウス…殿下…



最悪だ!!

よりもよって
クラウス殿下に
こんなところ!!

…きつともう
クラウス殿下の
目に止めてもらえる
チャンスは…ない…

見てのとおり
次期王妃候補と
睦事に励んでる
最中だ

グレン殿下!!

レイナは今
私のものだ

手を出しては
ならない決まりを
なぜ守らない

クラウス
殿下…？

それは
どうだかな

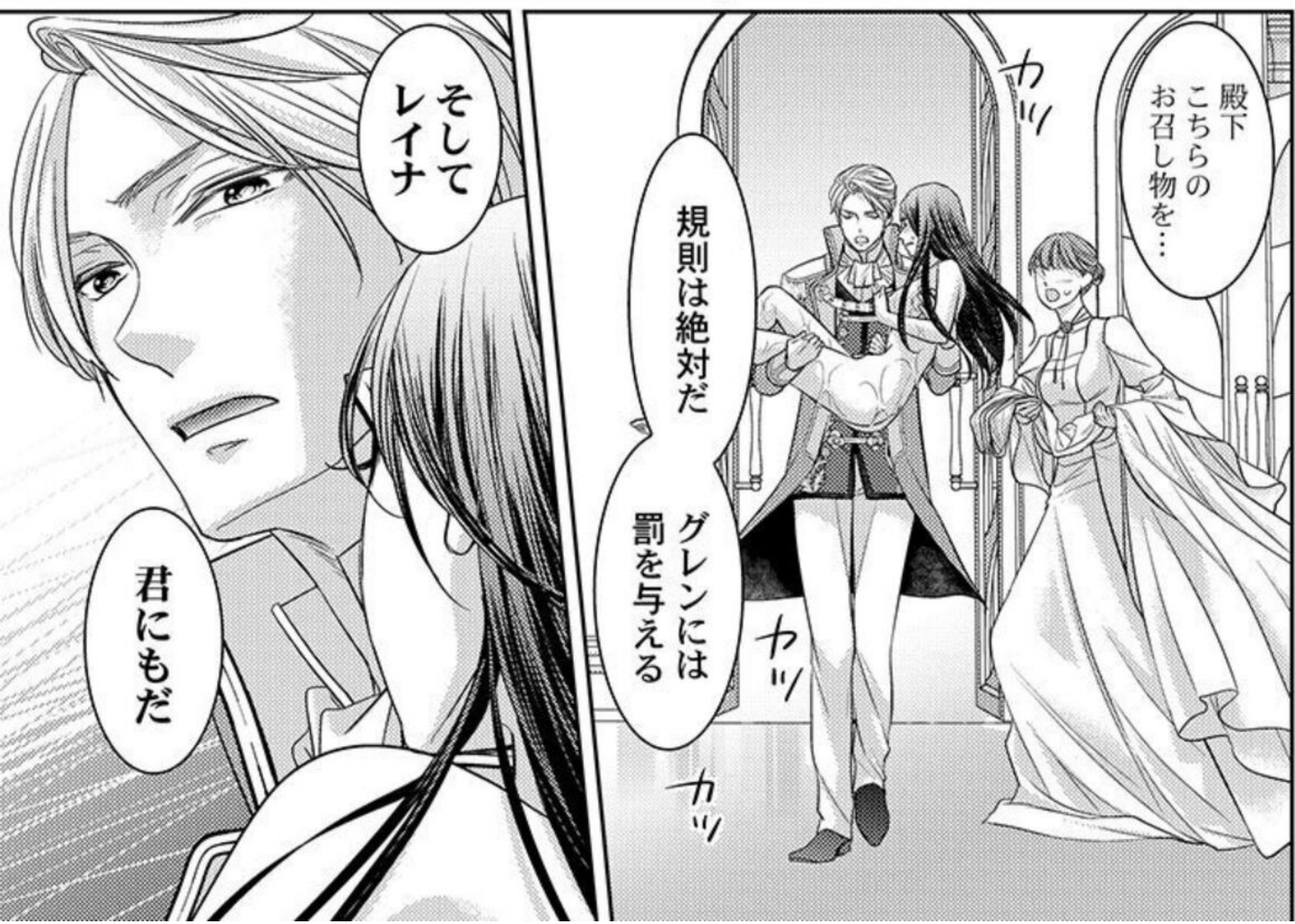
ふん…

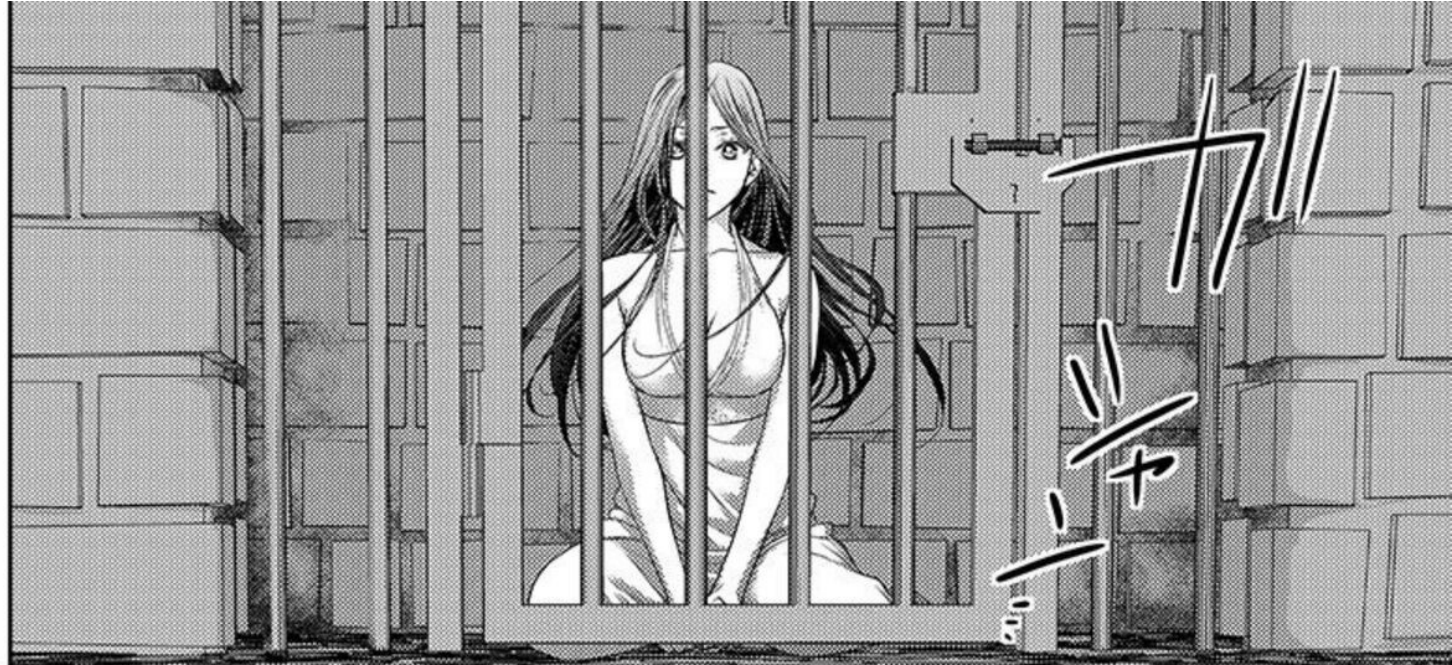
途中で気絶されて
まだ種はつけて
ないんだろ？

え…
それじゃあ…
だったらまだ
誰のモノでも
ない

ぐ…

………





裏切るだと？



クラウス殿下！

私は決して
殿下を裏切る
つもりは…



そこでしばらく
頭を冷やすがいい



思い
上がるな！



まるで私が
君に横恋慕よこれんぼでもして
いるかのような
口ぶりだな

でん…

殿下…っ



アネッサ様

なぜ
こちらに…



カッ

あらあら

お得意の
出しゃばりが
仇になったよう
ですわね



ハッ



カッ



今に
見てなさい!!



なぜって

クラウス殿下に
あなたの不貞を
お知らせしたのは
このわたくしですから

けれどまさか
こくんな素敵な
個室をお与えに
なるなんて…

とてもよく
お似合いですわ

次はあんたを
この牢屋に
叩き込んでやる

虚勢を張るのも
たいがいになさって

このわたくしを
あなたのような
下賤げせんの者と
同列に並べるなど
天罰が下ります

せいぜい
その檻の中で
ご自分の愚かさを
嘆くといいわ

：規則では
次期王妃候補の
不貞は

大奥追放
ですのに……

クラウド殿下……
なぜレイナ・オルガを
庇うの……

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～(2)

著者 サウロ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

～王妃になりたくば夜伽で殿下に愛され続けよ～

田 上 大 冊 界 奥 田

3

Sauro
サウロ

Jsehai
Doobu

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～

第 3 話



さゆ

さゆ



レイナ・オルガ…

あの卑しい女…
次期王妃は…
わたくしなのに…



クラウス殿下の
関心を…

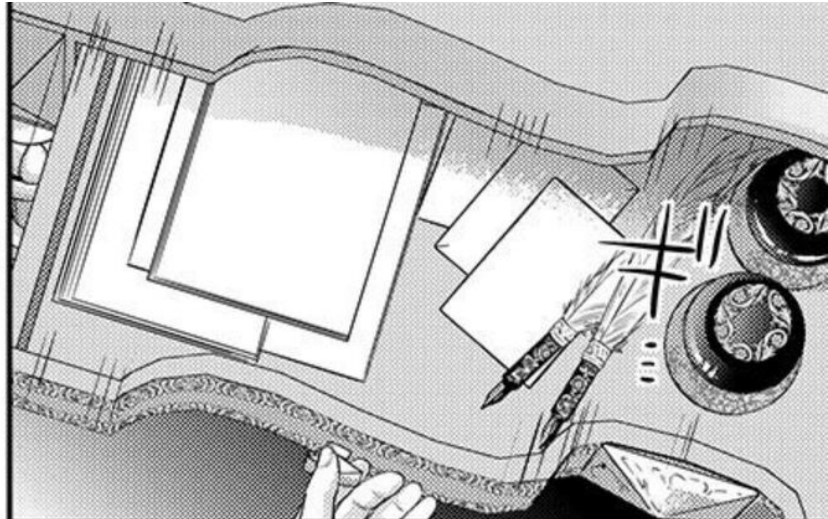
得ているなんて…



わたくしより



早く手を
打たなければ
手遅れになる…



持てる者が
それを
利用することは
恥でもなんでもない



最後に笑うのは
わたくしよ



そこで
しばらく

頭を
冷やすがいい



クラウス殿下!!

どうしたら...
許してもらえますん
だろっ...

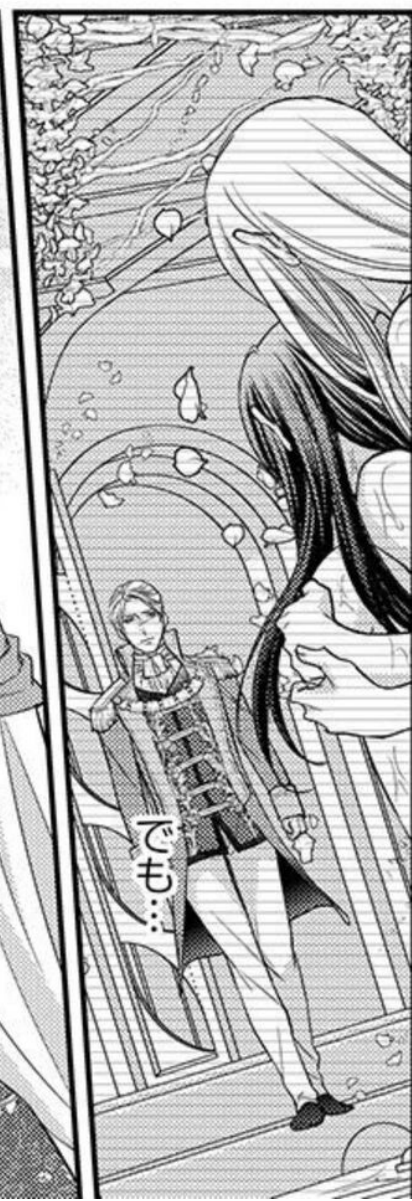


あんなところを
見た後で

数多い
王妃候補を
差置いてまで

私をまた
夜伽に呼ぶとは
思えない...

しかも...



でも...

途中で
気絶されて

まだ
種をつけて
ないんだろ？

私はまだ

クラウス殿下の
お手付きにさえ
なつてなかつた
なんて！

…このままじゃ
次期王妃の
地位が

他の女の手
渡ってしまう……

どうしたら……

あー
いたいた





レイナ・オルガ
発見♪

リュ：
リュカ殿下!?

…私を…

捜しておいで
だったの
ですか…?

まあね



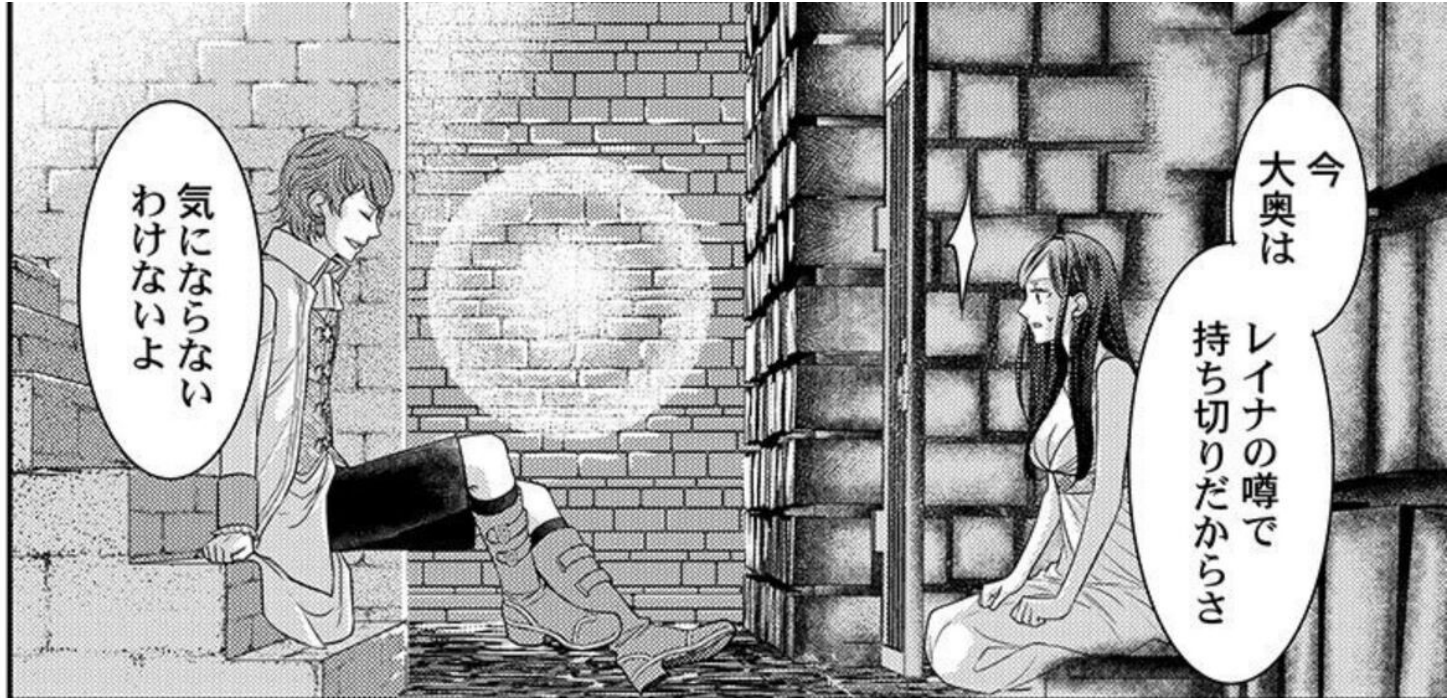
第三王子
リュカ殿下

クラウス殿下
とは腹違い

デレク殿下の
実の弟で
1番末の王子

女官たちとも気楽に
お茶することで
大奥では人気がある

王位継承順位は
第3位



気にならない
わけないよ

今
大奥は
レイナの噂で
持ち切りだからさ



それは…



え…



ん…

僕が
聞いたのは…



悔しい…

アネツサが
嬉々として
触れ回ってるのが
目に浮かぶわ



私が
不貞を犯して
牢屋に
投獄された…

という噂
…ですか…?

兄上の夜伽で
気持ち良すぎて
失神して
医務室に運ばれて

未だに淫夢に
うなされて
のたうち回ってて

手が
つけれないから
面会謝絶で
1ヶ月は帰ってこない

って
噂だったけど
大丈夫？

所詮
噂は噂だね

ちゃんと真実を
確かめに来て
正解だった

いやその噂
信じてる人
いるんですか!?

…えっと…

その噂…
ほぼ間違っ
てますが
至って大
丈夫です…

…って
あの…っ

私が
投獄されたって
噂は!?

でも…

アネツサが
黙ってるはずは…

ないよ
あっさり
だから結構
探しまわっ

言えないん
だよ

不貞は
大奥・追放案件
なのに

え…

あの伯爵令嬢の
プライド
ズタボロだから

それじゃあ…
クラウド殿下が
庇ってくれな
かったら…

兄上が
レイナを庇って

牢屋に隔離で
済ませたなんて

私…
今頃…

クラウス殿下…

規則は絶対って
言ってたのに…

トクン
庇って
くれたんだ…

でも

庇うわりに
牢屋に入れる
あたり…

怒ってるのは

確かだろうね

誤解…

解かなきゃ…

無駄だよ

はた

兄上も
わかつてる

王子に迫られて
拒否できる
女の子なんて
いないよ

だから
腹いせに
投獄して

気が収まれば
何もなくても
出してもらえる

でも
それがいつに
なるかだよ

どうやら今夜から
内願ないがんの伽ときで
兄上は忙しくなる
みたいだし

会わない間に

レイナのこと

忘れちゃうかも



大奥に
多額の金品を
納める代わりに

王族との
夜伽の権利を
買うんだよ

どうやら
アネツサが
父親の伯爵に
頼んだらしい



ちよつと
待って!!

内願の伽つて
何!?



卑怯だわ!
お金で
買うなんて!



アネツサが!?

勝てば
いいんだよ



で
き



ハム...

誰が王になるか

じゃなくて

誰を王にするか

考えても
いいんじゃない？



ところで

レイナの
目的は

王妃になること
でしょ？

だったらさ



え…

それって…
つまり…



君にあげる



僕が
王位継承を
経て
国王になるために
協力してくれたら



…考えさせて
ください

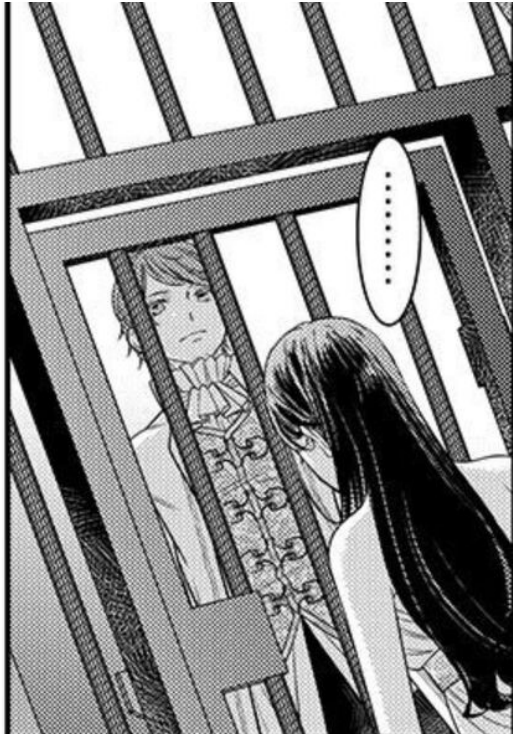
……



たしかに
リュカ殿下の
言いつとおり…
本来の
王位継承者から
謀略によって
その王位を
奪い取ることは

歴史上で
ままあることだ

僕の
王妃の地位は
レイナ



クラウス殿下は
どうなるの…？

でも
リユカ殿下が
国主になる
そのとき…



なんで
悩むの？

はっ



リユカ…殿下…？

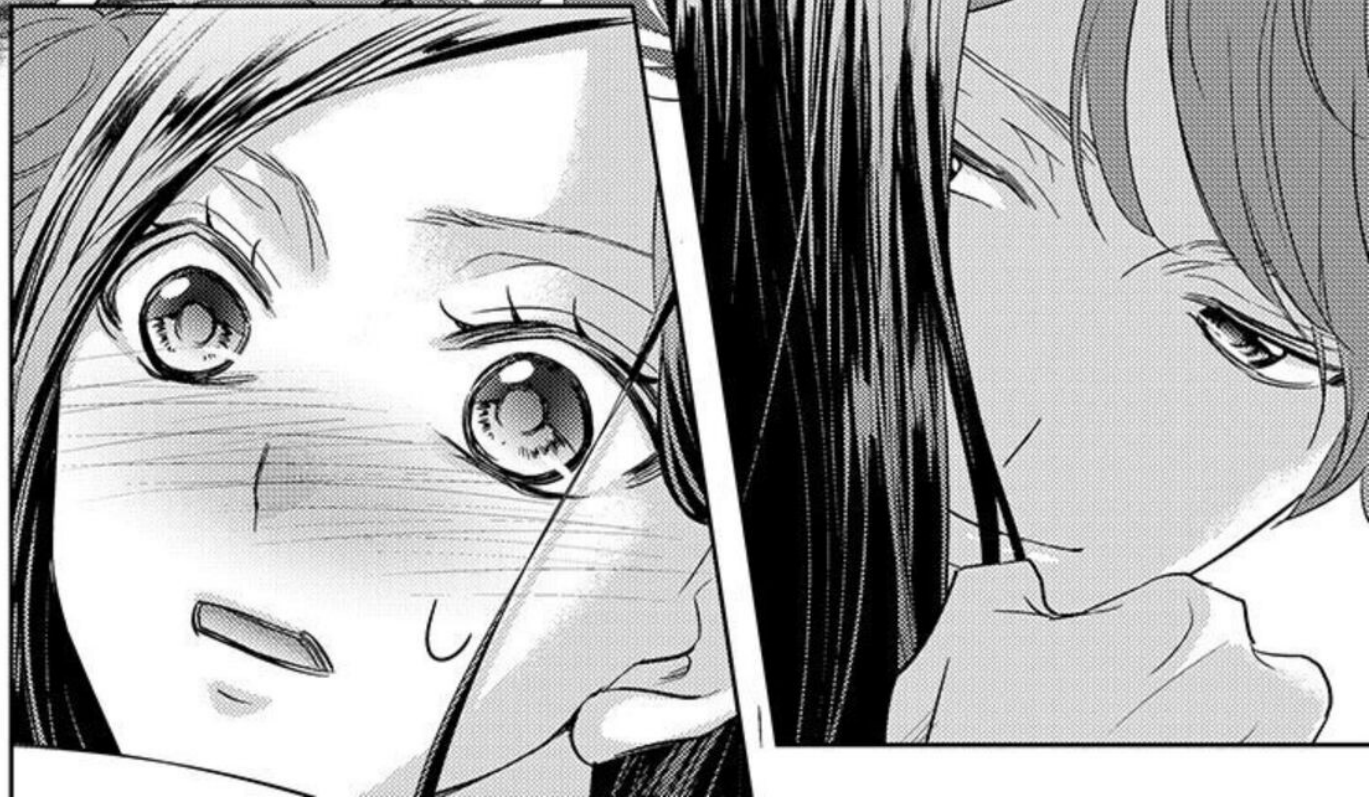
カチヤ



たった1回の
夜伽で落ちる
なんて…



それ以上
僕が抱けば
気持ち
変わる？





決断するには
まだ早い……!

女は一度
抱かれたからと
いつて

簡単に気持ち
揺らぐような
生き物では
ございませぬわ

リュカ殿下:
あなたが私を
気骨のある女と
認めてくださつた
ように

私にも殿下の
気骨のあるところを
見せていただき
たいのです



やっぱり

今はとにかく
クラウス殿下と
アネッサの
夜伽を止めたい



……はい



つまり……

レイナが
僕を認めれば
協力すると?



……



宵月の館へ

アネツサ



待ちくたびれ
ましたわ!

早く
クラウス殿下の
もとへ……!!



おさ


…まったく
王子に向かって
意見するとは…

いいだろう

何をすれば
いい?



……




リュカ殿下からの
ご命令ですよ



え…

クラウス…
殿下は…？



お先にご指名なされた
お方のもとへ
参上する決まりです

クラウス殿下からも
お話がありましたけれど
そういうことなら
辞退すると…



わたくしは…

わたくしは…

クラウス殿下が
いいの!!

クラウス殿下…!!

なんで
リュカ殿下なの!!

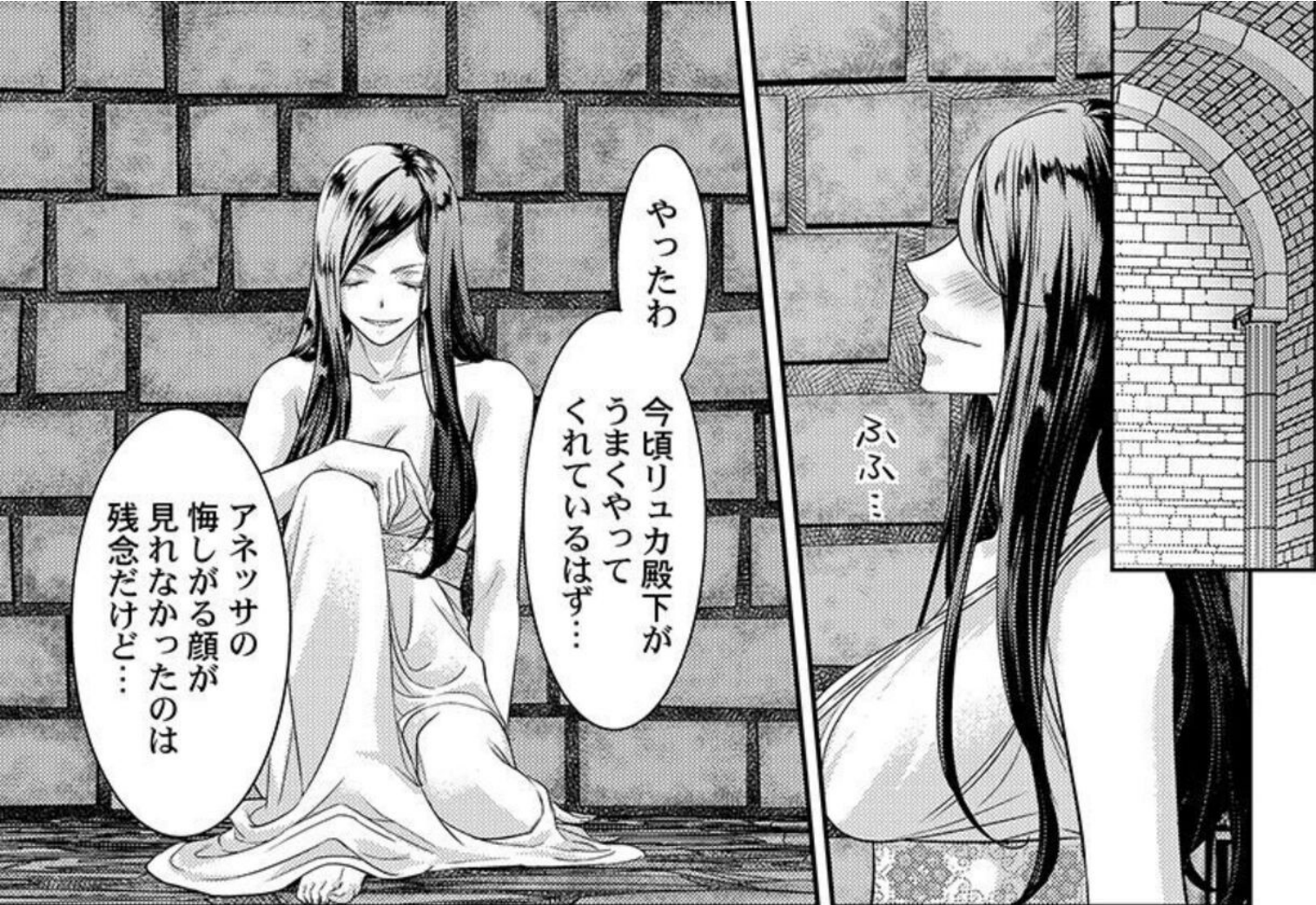
あ あ あ あ

無礼者!!

言葉を慎め!!

クラウス殿下…っ



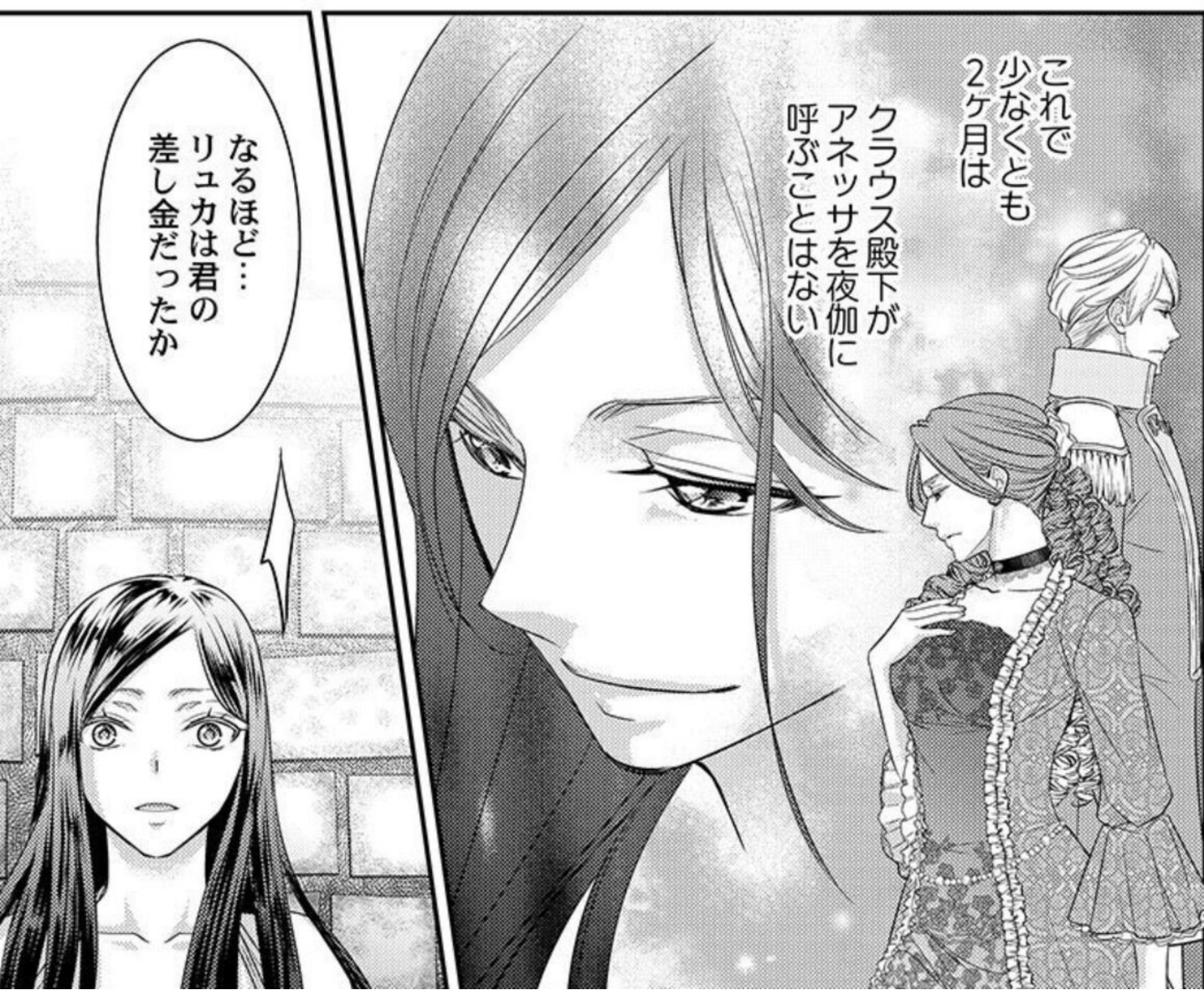


やったわ

今頃リユカ殿下が
うまくやって
くれているはず…

ふふ…

アネツサの
悔しがる顔が
見れなかったのは
残念だけど…



これで
少なくとも
2ヶ月は

クラウス殿下が
アネツサを夜伽に
呼ぶことはない

なるほど…
リユカは君の
差し金だったか



クラウス...
殿下...

!?

異世界大奥
～王妃になりたくば
夜伽で殿下に愛され続けよ～(3)

著者 サウロ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。